

企画展 丹後ちりめん創業 300 年記念

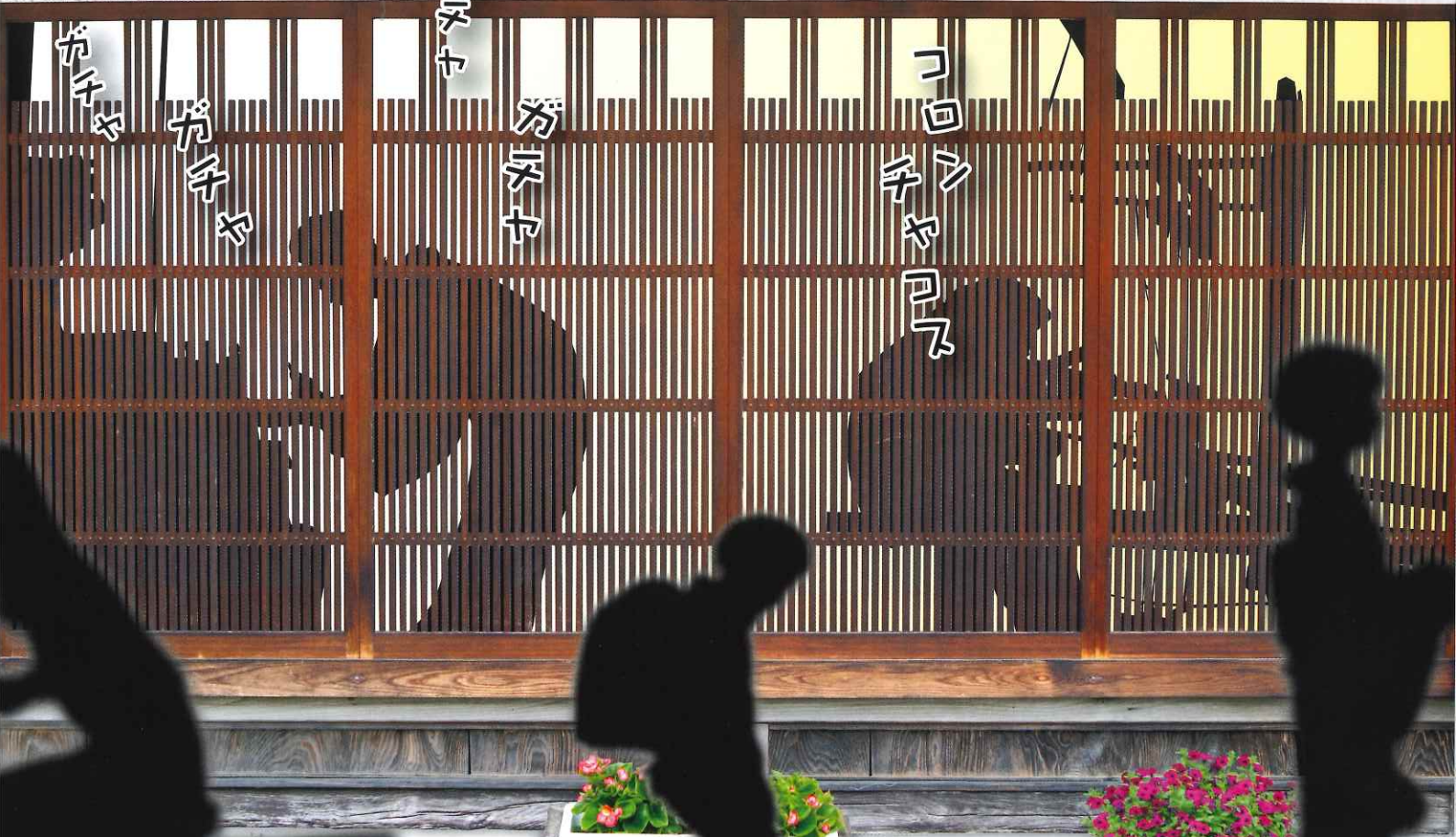
# 丹後のはたおと

—暮らしを織りなすリズムとメロディー—

2020 Kyoto Prefectural Tango Regional Museum Special Exhibition

2020年 7月18日(土) - 9月6日(日)

ちりめん街道の織屋格子(与謝野町)



ガキヤ  
ガキヤ  
ガキヤ

ガキヤ  
ガキヤ  
ガキヤ

コロン  
チャ  
ア  
ア

休館日 月曜日(※7月31日は臨時休館・8月10日は開館して翌日休館)

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 一般 200円 小中学生 50円

団体割引(20名以上) 一般 150円 小中学生 40円

○ただし、次の方は無料  
満65歳以上の方、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者  
小中学校の学校教育活動の場合  
○「きょうと子育て応援パスポート」が利用できます

KYOTO PREFECTURAL TANGO REGIONAL MUSEUM

## ふるさとミュージアム丹後

(京都府立丹後郷土資料館)

〒629-2234  
京都府宮津市宇国分小字天王山 611-1  
TEL.0772-27-0230 FAX.0772-27-0020

ふるさとミュージアム丹後 検索 <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>

— 丹後ちりめんの繁栄を伝える  
まつりの音風景もPickUp!!



海の京都

2020 丹後ちりめん  
創業300年

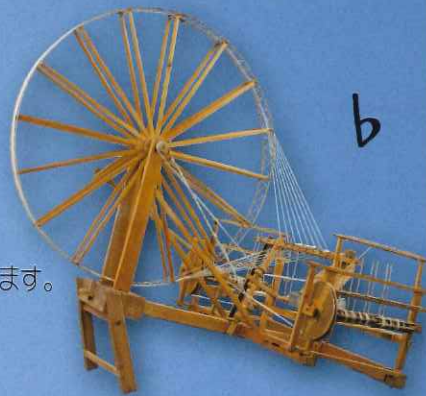


加悦谷まつり(与謝野町後野区)

企画展 丹後ちりめん創業300年記念

# 丹後のはたおと

—暮らしを織りなすリズムとメロディー—  
2020 Kyoto Prefectural Tango Regional Museum Special Exhibition



b

手機(明治11年製 京丹後市)

絹織物のブランドとして全国的な知名度を誇る丹後ちりめん。  
そのはじまりは享保5年(1720)と伝わり、本年は創業300年の節目にあたります。

本展ではこれを記念し、300年の時を刻んできた「はたおと」や  
民謡としての機織り歌に代表される、

丹後の暮らしの音風景(サウンドスケープ)を糸口にして、  
丹後ちりめんと生きた先人たちの暮らしのあゆみを振り返ります。

また、この春は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、  
全国各地で祭りや行事を自粛する動きが広がりました。これにともない、  
丹後においては地域に活気を呼び寄せる祭囃子や神輿を担ぐ勇壮な掛け声、  
それらを迎える人々の歓声を耳にすることができませんでした。

この経験を通して、「まつりのおと」が地域の暮らしに欠くことのできないものであることを  
再認識された方も多いのではないのでしょうか。  
本展が暮らしの音風景を見つめ直す機会となり、  
丹後ちりめんの新たな価値や魅力を発見することにつながれば幸いです。

## 主な展示品

- ・丹後の紡織用具及び製品  
【国指定重要有形民俗文化財】
- ・木製ジャカード(近代 与謝野町岩屋)
- ・丹後の民謡(機織り唄など)関連資料
- ・丹後の祭り・行事(宮津踊りなど)関係資料

## ♪「耳トレ! ワークショップ」

日時 8月22日(土)  
午後1時30分~3時

対象 年齢不問  
定員 20名(要事前申込/先着順)

講師 小松 正史さん  
(京都精華大学教授・環境音楽家)

音楽だけではない「音」に注目し、それを教育・学問・デザインに活かす。  
BGMや環境音楽を制作し、ピアノ演奏も行う。丹後郷土資料館や京都丹  
後鉄道をはじめとした、公共空間の音環境デザインを行う。音育(おといく)  
ワークショップも実践。

「耳トレ」とは、  
音を聴きながら耳を  
きたえるトレーニング。  
暮らしの中の音に耳を  
すませてみましょう!

## EVENTS

(催し物案内)  
※会場はすべて当館  
問い合わせ・申込み先  
丹後郷土資料館  
(0772-27-0230)

## ♪「リズム遊びワークショップ & 和太鼓・ドラムセッション」

日時 8月1日(土)  
午後1時30分~3時30分

対象 高校生以下  
定員 20名(要事前申込/先着順)  
参加費 1人100円(材料費)  
共催 京都市立丹後郷土資料館友の会

バケツにいろんな色の  
ガムテープをはって、  
タイコを作ります。  
みんなで楽しく  
たたくましょ!

和太鼓演奏 京都市立与謝の海支援学校寄宿舎

講師 梶原 徹也さん  
(ドラマー  
EX-THE BLUE HEARTS)

元「ザ・ブルーハーツ」のドラマーであり、世界中で演奏活動を行っている  
ドラム奏者。バリアフリー・ロックバンド「サルサガムテープ」やフリー  
スクールの音楽講座では、自由な演奏とリズムを通して音楽の楽しさを共  
有する活動を続けている。近年は、太鼓芸能集団「鼓童」本公演・坂東玉  
三郎氏芸術監督「混沌」のドラム監修、アドバイザーや作曲も手がける。  
自らのバンド「THUNDER BEAT」・「えびす大黒」において、和太鼓と  
ドラム、ロックの新たな可能性を模索している。

## ♪「はたおとを聴こう!」

日時 7月30日(木)、8月6日・27日(木)、9月3日(木)  
午前11時~12時の間で3回実施(各回20分)

定員 各回10名(申込不要/先着順)  
実演 坂根 博子(当館職員) / 解説 青江 智洋(当館学芸員)



交通のご案内  
ACCESS  
・京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または  
「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き  
「丹後郷土資料館」下車すぐ  
・与謝天橋立ICから車で10分

